



入会のしおり



水海道ロータリークラブ

2004 - 2005年度

ロータリー情報委員会

[ロータリーの誕生]

20世紀初頭のシカゴの街は著しい経済の発展の陰で商業道德の欠如が目につき、人々の心が荒れすさんでいました。

ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスは此のことを憂えて、思い遣りと助け合いの精神によって、お互いに信頼の出来る公正な取引をし、仕事上の付き合いが親友関係に発展するような仲間を増やしたいと考え、三人の友人（シルベスター・シール、ガスター・ローア、ハイラム・ショーレー）と語らって、この理想を広く人々に呼びかけようと会合を開きました。これがロータリーの始まりとされています。

この会合は会員の事務所を持ち回りで開くことによって『ロータリー』と言う名が付けられたのです。1905年2月23日の事でした。

こうした優れた思想の下に多くの人々が集まり、各地にロータリークラブが誕生して行き、国境を越えた現在では（2003年12月現在）166カ国、1,211,723人の会員を擁する大きな組織になりました。毎年2月23日を創立記念日とし『成果理解と平和週間』として様々なプログラムが行われます。

この世界中のロータリークラブの連合体が国際ロータリーであります。

本部は米国（1560 Shrman Avenue, Evanston, Illinois 602012, USA）におかれています。

[ロータリークラブについて]

ロータリーとはどんなクラブ

一言でいえば奉仕クラブ組織で、自分の職業を通じて奉仕することに主眼がおかれています。ロータリーとは、「人道的な奉仕を行いあらゆる職業において高度の道德的水準を守る」という「ロータリーの綱領」を念頭に、世界における親睦と平和の確立に寄与することを目指した実業人や専門職業人が世界的に結び合った団体」と定義され、またロータリークラブとは「奉仕の理想を各人の個人、職業、社会生活実践の基盤とすることに同意した、実業人や専門職業人によって構成されたクラブ」と定義されています。何か難しそうですが実際は会員同士の親睦を深め自己啓発を進めながら自分の職業を活かして世界や地域に奉仕していくことを目指しています。

ロータリーではどのような活動しているのか。4つの奉仕活動が中心です。

・ クラブ奉仕

会員相互の親睦を深め、和気あいあいとした協力体制を作ります。また、クラブ全体の運営・調和を図る役割もあります。

・ 職業奉仕

すべてのロータリアンが各自職場での代表でありロータリーの理想の模範を示し、その理想を分かち合うように勧めることを目的とします。これを端的に表したのが有名な四つのテストです。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

- ・ 社会奉仕

地域社会の中でその社会が欲しているものを探しだし、そのニーズに対して適切な奉仕活動を行います。

- ・ 国際奉仕

ロータリーが世界平和と各国間の理解のために力となっている分野です。青少年留学生の派遣や受入、世界各地の災害援助など世界的な社会奉仕活動を行っており、世界中からポリオをなくすためのワクチンや医師の提供は、麹町 R C が提唱し世界的に推進されているプログラムです。

[ロータリーの標語]

『超我の奉仕』 Service Above Self

1989年の規定審議会でロータリーの第一の標語となりました。

国際ロータリーの最初のモットーである『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』というのが1911年8月米国オレゴン州ポートランドで催された第2回ロータリー大会で承認されました。この文言はシカゴのロータリアン、アート・シェルドンによって初めて提言されました。彼は1910年の演説に「その仲間に最もよく奉仕する者が最も多く報いられる」という文言をいれたのです。同じ頃に米国ミネソタ州のロータリークラブ会長であったベン・コリンズは、ロータリークラブを組織する適切な方法は彼の所属クラブが採用していた「無私の奉仕」という原則を貫くことだという意見を述べました。上の二つのスローガンは、若干修正されて、1950年のデトロイト国際大会で公式モットーとして正式に承認されました。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と「超我の奉仕」の二つです。1989年の規定審議会は「超我の奉仕」というのをロータリーの第1標語として決めました。というのは、これが利己的でないボランティアの奉仕の哲学を最も良く説明している文言だからです。

[日本のロータリー]

わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れる事が出来ません。その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。

現在、日本全体でのクラブ数は2,326、会員数106,366人(2004年5月末現在)となっています。

[会員としての特典]

ロータリークラブ会員は、長い歴史のうえに育て上げられてきた『奉仕の理想』の推進者となります。

たとえ本人が希望してもなれません。ロータリークラブの会員によって承認され、初めて会員となれるのです。

ロータリークラブ会員は、ロータリアンとして尊敬され、国際ロータリーの徽章、バッジまたその他の徽章を着用する権利を与えられます。

ロータリークラブ会員は、入会と同時に世界のロータリアンと友達になれます。日本は勿論、世界中のクラブの例会や地区大会、国際大会などに出席できます。

ロータリークラブ会員は、あらゆる職業のロータリアンとの親睦を通して見聞を広め、品性を磨き、奉仕の道を開く事ができます。

[会員として]

出席 例会への出席は、ロータリアンとして最大の義務である。100%が望ましいが、60%までは認められている。ホームクラブへの出席を最優先とする。

メイクアップ・・・やむを得ずホームクラブを欠席する場合は出席率を補う目的で、ホームクラブ例会前後2週間以内に他のクラブの例会に出席する。他のクラブの人々と親睦を深めることにも役立ちます。

年会費 半期毎に期の始の早い時期に納入する。

委員会 必ず何れかの委員会に所属します。

善意の寄付 ニコニコボックス（誕生日、記念日、祝い事、その他）
ロータリー財団
米山記念奨学会
その他

寄稿 ロータリーの友への寄稿
クラブ会報への寄稿

主な行事への参加

国際大会・・・年一回世界各地で開催され、世界中のロータリアンが集います。

ガバナー公式訪問・・・地区ガバナーがクラブへ公式に訪問します。クラブ例会、その他行事に参加します。

地区大会・・・年一回地区内各地でガバナー主催で開催されます。地区内はもとより海外友好地区、近隣地区のロータリアンが参加します。

インターシティミーティング（IM）・・・分区内の会合です。情報交換と親睦を目的とします。

情報集会（インフォーマルミーティング）・・・クラブ各種委員会、入会年度別等で随時行われます。

各種委員会活動・・・所属する委員会の活動に参加します。

その他・・・各種記念行事へ参加します。

[水海道ロータリークラブ事務所]

〒303-0023

茨城県水海道市宝町 3386 釜久ビル 3F

TEL 0297-30-0875 FAX 0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://kinuyou.com/rc/>

[例会場]

〒303-0023

茨城県水海道市宝町 2790 常陽銀行水海道支店 3F 会議室

TEL 0297-22-1251 (常陽銀行水海道支店代表番号)

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30

[例会について]

日 時	毎週水曜日 12:30~13:30 (但し国民の祝日は休会)
会 場	常陽銀行水海道支店 3F 会議室
休 会 日	理事会の決定により年 4 回の休会日を設ける事が出来る。
日時・会場の変更	プログラムのお知らせ欄に記載
出席の手続	バッジの着用 ネームプレートの着用 当日の資料の確認 (各自ボックス)
通常例会のプログラム	点鐘 (会長) ~ ロータリーソング・ビジター・ゲスト紹介 ~ お食事と歓談 ~ 出席報告 ~ ニコニコボックス報告 ~ 諸報告 ~ 幹事報告 ~ 会長の時間 ~ 卓話 ~ 点鐘 (会長) (毎月第一例会国歌斉唱、誕生祝会員・配偶者の紹介があります。第二例会四つのテスト唱和)
着 席	場所原則自由ですが、SAAの指示により変更するときがあります。
例会場の委員会	SAA (会場監督): 準備、ニコニコボックスの受付、報告 親睦活動委員会: ゲスト・ビジターの受付、紹介、接待 クラブ会報委員会: 週報作成のために例会の記録 出席委員会: 出席報告及び前週の訂正報告 ロータリー財団: 寄付の受付、報告 米山記念奨学会: 寄付の受付、報告
入会当日のこと	開会 15 分前までに紹介者と例会場にご来場下さい。簡単な入会ご挨拶を頂きます。(1分以内)

[例会で用いられる英語の単語と熟語の一部]

Annual Program Fund	年次プログラム基金
Assembly	協議会
Assistant Governor	ガバナー補佐
Charter Member	創立会員
Charter Night	認証伝達式
Club bulletin	クラブ週報
contribution	寄付
Convention	国際大会
Council on Legislation	規定審議会
District	地区
District Assembly	地区協議会
District Community Assistance Program	地区の地域社会援助プログラム
District Conference	地区大会
District Designated Fund (D D F)	地区財団活動資金
District Governor	地区ガバナー
District Governor-elect	地区ガバナー.エレクト
District Internet Communications Officer	地区インターネット コミュニケーション 役員
District Leadership Plan	地区リーダーシップ プラン
District Leadership Seminar	地区指導者育成セミナー
District Membership Development Task Force Chairman	地区会員増強グループ委員長
District Team Training Seminar	地区チーム研修セミナー
forum	フォーラム、討論会
G o v e r	ガバナー
Gover-elect	ガバナーエレクト
GovernorNominee	ガバナーノミニー
Governor's Monthly Letter	ガバナー月信
Group Study Exchange - GSE	研究グループ交換 1
Honorary Member	名誉会員
Human Development	人間尊重

Humanitarian Grants	人道的補助金
Humanitarian programs	人道的プログラム
Interact	インターアクト 2
Interact Club	インターアクト クラブ
International Assembly	国際協議会
Intercity Meeting	アイ・エム（都市連合会） 3
Japan Ambassadorial Scholarship	ジャパン国際親善奨学金
Make-up	メイクアップ
Manual of Procedure	手続要覧
Matching Grants	同額補助金 4
Membershi p Development	会員増強
Nominating Committee	指名委員会
Official Directory	公式名簿
Paul Harris Fellow	ポール ハリス フェロー 5
Paul Harris Sustaining Member	ポール ハリス準フェロー
Peace Program	平和プログラム
Per Capita Dues	人頭分担金
Permanent Fund	恒久基金
Presidents-elect Training Seminar (PETS)	会長エレクト研修セミナー
RI Japan Office	RI 日本事務局
Rotaract	ローターアクト 6
Rotary Ambassadorial Scholarships	ロータリー国際親善奨学金
Rotary Emblem	ロータリー徽章
Rotary International Japan Office	国際ロータリー日本事務局
Rotary Theme	国際ロータリーのテーマ
Rotary World	ロータリーワールド
Rotary Youth Leadership Awards	ロータリー青少年指導者養成プログラム (R Y L A) 7
Sergeant-at-Arms (SAA)	会場監督
Service Above Self	超私の奉仕
The Object of Rotary	ロータリーの綱領
The Rotarian	ザ ロータリアン誌
Training Leaders	研修リーダー

training seminar	研修セミナー
World Community Service (WCS)	世界社会奉仕 8
World Understanding and Peace Award	国際理解と平和賞
World Understanding and Peace Day	世界理解と平和の日
Youth Exchange	青少年交換 9
Zone	ゾーン 10

(提供: RI)

ロータリー用語抜粋

1 研究グループ交換 (GSE)

異なる国々の組み合わせ地区間で、事業並びに専門職務に携わる 25 歳から 35 歳の青年 4 人または 5 人からなる、研究チームを交換することによって、国際理解を推進するものです。各チームは、地区ガバナーの代理が同行します。そして一行は 4~6 週間受け入れ地区に滞在します。

2 インターアクト

奉仕と国際理解に献身する若い人のために、ロータリークラブが提唱するクラブ。高校生の年齢層 (14 歳から 18 歳) の学生が入会できる。

3 I・M

語源としては、複数の都市のクラブで実施する都市連合会のことです。その目的の第一は、会員相互の親睦と面識を広め、会員にロータリー情報を伝えることにあります。一般的には、分区単位で行われますが、複数の分区で実施される場合もあります。

4 同額補助金

ロータリー財団の目的の推進に寄与する方法として、ロータリークラブと地区が他国のロータリアンと協力して、人道的な世界社会奉仕プロジェクトを遂行するのを援助することです。財団は、承認された国際奉仕プロジェクトにクラブと地区の寄付額を、最高米貨 50,000 ドルまで授与します。

5 ポール・ハリス・フェロー

個人が、自らまたはある人に敬意を表するため、あるいは、記念するために米貨 1,000 ドルをロータリー財団に寄付すると、本人または敬意を表された人はポール・ハリス・フェローになります。

6 ローターアクト

奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、若年成人 (18 歳から 30 歳) を対象に、ロータリークラブが提唱するクラブ。

7 RYLA (ライラ)

このプログラムは、14歳～30歳までの若い人々のためのプログラムであり、国際ロータリーが、1971年に公式に採用したものです。地区レベルで実施されるセミナーや指導者キャンプなどにより、ロータリアンは地元地域社会の若い人々の指導者及び善良な市民としての資質を伸ばすことに力を尽くす機会に恵まれます。

8 世界社会奉仕（WCS）

地球規模で、地域社会開発と国際親善を推進する国際奉仕の一面です。ロータリアンは、WCSを通じて生活を改善し、同時に人類のニーズに答えるプロジェクトを実施しています。こうして、海外に物質的、技術的、専門的援助をすることによって、国際理解と親善を推進しています。

9 青少年交換

高校生の年齢層の学生が、国際理解と親善を推進するために、1学年度または休暇中、海外に勉強または旅行するRIのプログラム。交換学生は、RI理事会推奨の指針と手続きに従って、派遣・受入ロータリークラブまたは地区の推薦の下に選考されます。

10 ゾーン

RI会長指名委員とRI理事指名委員を選挙するために、RI細則を定めRI理事会が編成したクラブ集団。ゾーンは、また研究会開催の基盤ともなります。日本は、4つのゾーンに分けられており、水海道クラブはゾーン1に属します。（北海道、東北、新潟、茨城、千葉）

[ニコニコボックス]

日本では、昭和11年からニコニコ箱として大阪で始まりました。嬉しかったことや失敗したこと何かに付けてBOXに善意の金を納め、ロータリークラブの奉仕に活動に使用いたします。あくまでも善意の寄付金ですので金額は自由です。社会・国際・職業・新世代奉仕等の対外的奉仕活動に充てられます。

[ロータリー財団]

非営利財団法人で、貧しい人々や有意義なプロジェクトに対し世界各地で人道主義に裏付けられた補助金を支給し奨学生や教員、実業人及び専門職業人の国際交流に教育補助金を支給しています。子の財団の目標は、人道的プログラム及び教育プログラムに補助金を授与することによって世界の人々の間に理解と友好関係を増進することです。

ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
メモリアル・コントリビューター

米貨1000ドル（分割が可能）
米貨1000ドル（財団基金への寄付）
金額に関係なし（亡くなった人を記念して寄付した個人またはクラブ名で）

[(財) ロータリー米山記念奨学会]

R C 所在国または地域、及び元 R C 所在国から来日し、日本の大学及び大学院に在籍している外国留学生に奨学金を支給し、国際理解と親善に寄与することを目的としている。

1953 年東京 R C が創立者米山梅吉氏の功績を記念して創設された。「米山基金」から発展した。

1967 年財団法人ロータリー米山記念奨学会となり、現在基本金 46 億円、文部科学省の管轄下にある。執行機関は理事会で理事長は島津久厚 R I 理事。

普通寄付金と特別寄付金があり、これらの寄付金を受け入れ、1000 人の留学生に奨学金を支給する（世話クラブに振り込む）。

奨学生募集と選考、奨学生の世話（世話クラブと連絡や報告書のチェック）などを行っております。民間として日本最大級の奨学金制度。

世話クラブは米山カウンセラーを指名し、カウンセラーは奨学生の個人的世話を当たります。

支給額は月額 12 万円と 15 万円がある。

期間は 2 年間を限度とし、この 2 年間は継続支給。

普通寄付	全日本のロータリークラブ会員から、クラブ毎に会員 1 人につき年額 1000 円以上定額で寄付されます。
特別寄付金	個人・クラブまたは法人として、普通寄付以外に寄付されるもの。
米山功労者	個人の特別寄付金の合計額が 10 万円に達したとき、または一度に 10 万円もしくは祖形状の特別寄付をされたとき、米山功労者として表彰されます。
米山功労法人	法人が所定の申込書により 35 万円の特別寄付をされたとき、米山功労法人として表彰されます。
米山特別功労法人	法人から特別寄付合計額が 105 万円に達したとき、または一度に 100 万円もしくはそれ以上の特別寄付をされたとき、米山特別功労法人として表彰されます。

クラブの略歴及び認証状・バナー

- | | |
|---------------|------------------------|
| (1) 創立記念日 | 1963年9月25日 (常陽銀行水海道支店) |
| (2) RI加盟承認 | 1964年1月28日 |
| (3) チャーターナイト | 1964年5月17日 (県立水海道一高) |
| (4) チャーターメンバー | 34名 (内現在会員数1名) |
| (5) 創立当時のガバナー | 小野 康平氏 |
| (6) スポンサークラブ | 土浦ロータリークラブ |
| (7) 特別代表 | 細野 勝久氏 |
| (8) 所在地域 | 水海道市 |



認 証 状



バ ナ ー



クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマークに「水」の字をあしらったものでしたが、創立10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、研究検討の結果出来たものが現在のものです。

鬼怒川と小貝川にはさまれた水海道市は、昔から水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、川との関わり合いの深い所です。

鯰は「如拙」の「瓢箪鯰」にあるよう、また幸を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯰」と「川」が当地の特色を最も的確に表すだろうと云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵淳子先生が両川の清流に黄金の鯰を配して図案化したものです。

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；
あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；
そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と平和を推進すること。

四つのテスト

- Of The Four- Way Test -

言行はこれに照らしてから

Of the things we think, say or do

1 真実かどうか

Is it the TRUTH?

2 みんなに公平か

Is it FAIR to all concerned?

3 好意と友情を深めるか

Will it build GOODWILL and BETTER FRINDSHIPS?

4 みんなのためになるかどうか

Will it be BENEFICIAL to all concerned?

